

「俺がいなくなっても...いつか、てめえらも泣く時が来る...三途の川の隙間は...開いてるぜ...」

【名前】	血祭ドウコク
【読み方】	ちまつりどうこく
【声】	西凜太郎（シンケンジャー） 今村直樹（スーパーヒーロー大戦）
【登場作品】	侍戦隊シンケンジャー 仮面ライダー×スーパー戦隊 スーパーヒーロー大戦
【登場話】	第一幕「伊達姿五侍（だてすがたごさむらい）」～最終幕「侍戦隊永遠（さむらいせんたいえいえんに）」
【所属】	外道衆
【分類】	アヤカシ
【得意武器】	昇竜抜山刀（しょうりゅうばくざんとう）、降竜蓋世刀（こうりゅうがいせとう）
【モチーフ】	イセエビ 、鎧武者
【名前の由来】	慟哭？
【元ネタ】	毘沙門天

【詳細】

外道衆の長。血を浴びたように真っ赤な鎧武者のような姿を持つアヤカシ。

志葉家十七代目当主・志葉雅貴の「封印の文字」により封印されていたが、長い年月をかけて復活し、[六門船](#)と共に三途の川に浮上した。これが切っ掛けで志葉丈瑠が家臣を招集し、シンケンジャーを結成する事となり、物語が始まる。

アヤカシを纏う能力を持ち、戦闘力も極めて高い為アヤカシ達を束ねる首領として君臨している。圧倒的なパワーとスピード、丈瑠の斬撃をまともに受けても微塵のダメージも負わない防御力を誇り、劇中の他とは一線も二線も画する実力を誇る。存在するだけで三途の川に影響し、[ナナシ連中](#)とその亜種はドウコクの強い怒りにより三途の川の積石の隙間から無限に出現する。

また、夏になると力が増大し、それに伴って三途の川も増水し、アヤカシやナナシ連中も力をつけ、[脂目マンブク](#)と[筋殻アクマロ](#)が現代に復活し、[ノサカマタ](#)も発生した。夏力は本人が持て余す程で、制御の為に暫く六門船を離れたが、後に使い熟せるようになった。大刀「昇竜抜山刀」と小刀「降竜蓋世刀」を武器とし、酒を飲んでいる時以外は片時も手放さない、また、咆哮による衝撃波も驚異の威力である。

普段は六門船で酒を飲んでいるが、これは「封印の文字」の後遺症で、バラバラとなった身体を時間をかけて集めて復活した影響からこの世に出るとすぐに水切れが起きてしまう。それ故、常に理由なき怒りと不満がその中で渦巻いており、短気な性格で、一旦怒ると手がつけられず、その怒りは[薄皮太夫](#)と酒でしか宥める手段がない。太夫が人間であった頃に新左を待ちながら彼女が奏でていた三味線の悲しげな音に強く惹かれ執着しており、彼女が外道となった後は常に彼女を傍に置くようになる。

アヤカシ達を恐怖政治ながら統治しているが、直属の部下は[骨のシタリ](#)ぐらいしか確認できず、大抵は彼を「御大将」と呼び軽口を叩く者が多く、主にシタリの指示でこの世へと侵攻していた。一方で懐は広く、アヤカシ達の多少の無礼は歯牙にも掛けず、シタリに裏切られた際も素直さに免じてあっさり許した。自身に反目を企てる者には厳しく、制裁を下す事もあるが、[ゴズナグモ](#)が自らに敵意を持っている事を知りつつ、明確な反乱を起こすまでは六門船に出入り禁止に留める等、意外に裁量がある。

初登場は第一幕だが、シンケンジャーとの初戦は第四十幕である。それも後遺症を無視し、シタリの忠告も聞かずに強引に現れた為、初めてドウコクを目撃したシンケンジャーは元より、太夫とアクマロさえもその登場には驚愕していた。短時間の戦闘であったが、シンケンジャーとアクマロを相手に桁違いの戦闘力を発揮して勝利。その後、深刻な水切れを起こした為三途の川の中に沈むも、太夫が三味線を捨てた事で解放された嘆きの力により復活し、半分人間である太夫を取り込み水切れを克服。薫が発動した、先代当主からの頼みの綱「封印の文字」も、人間を取り込んだドウコクには決定打にならず、弱点はなくなった。

その後、三途の川がこの世に溢れた事で六門船に乗って出現し本格的に侵攻を開始。シンケンジャーは先の「封印の文字」による傷に志葉家のモヂカラを込めたディスクでの攻撃を叩き込む作戦で応じ、見事丈瑠が一撃を与えるが、なおも倒れずシンケンジャーを戦闘解除に追い込んだ。薫を狙ってその場を離れるが、彦馬の救援により5人は立ち上がり、薫と丹波の力も預かった彼らの反撃によって動きを止められ、ブルーの志葉家のモヂカラディスクを使用したシンケンマルの斬撃を受け倒される。

その直後、[二の目](#)となる。サムライハオーすら圧倒する戦闘力を発揮するが、シンケンジャーの捨て身の作戦により、折神を次々と吹き飛ばされながらも至近距離まで詰め寄り、最期は全てのモヂカラを込めたシンケンオーのダイシンケンの斬撃を受け、シンケンオーにしがみ付き爆散した（[上記の台詞](#)はその際のもの）。それと同時に、この世に溢れ出た三途の川の水は三途の川へと戻っていき、六門船も再び川底に沈んだ。

第一幕から通しての最大の敵であるゆえ、彼が倒された事で物語も幕を閉じた。

【仮面ライダー×スーパー戦隊 スーパーヒーロー大戦】

[大ザンギャック](#)陣営の怪人として登場。

【余談】

外道衆の幹部の例に漏れず、七福神が元ネタとなっている。

『[天装戦隊ゴセイジャー](#)VSシンケンジャー エピックon銀幕』では彼に似た姿を持つ[血祭のブレドラン](#)が登場し、ドウコクの遺志を受け継ぐとは言っていたが、あくまでシタリを乗せる為の方便に過ぎず、直接の関連性は一切ない。

声を演じる西氏は『[五星戦隊ダイレンジャー](#)』で敵幹部・[シャダム中佐](#)としてレギュラー出演しており、後の『帰ってきたシンケンジャー 特別幕』ではシタリ役のチョー氏と共に顔出し出演している。
